



岐阜県内経済情勢

令和6年8月6日

財務省東海財務局
岐阜財務事務所

1. 総論

【総括判断】「岐阜県内経済は、回復に向けた動きに一服感がみられる」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	回復に向けた動きに一服感がみられる	回復に向けた動きに一服感がみられる	→

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→
設備投資	5年度は増加見込み	6年度は増加見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	6年度は減益見込み	→
企業の景況感	全産業の現状判断（6年1-3月期）は「下降」超	全産業の現状判断（6年4-6月期）は「下降」超	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↑
企業倒産	件数は前年を上回っている	件数は前年を下回っている	↑

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

【個人消費】持ち直している

百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、横ばいとなっている。ドラッグストア販売は、堅調となっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 物価高による節約志向の強まりや商品の値上げ等により、買上点数が前年比マイナスとなっている。
【コンビニエンスストア】
- 外出機会の増加等により化粧品や食料品が好調であることなどから、売上は前年を上回っている。食料品を比較的安価で販売していることから、これを目的に来店する動きが引き続き見られている。
【ドラッグストア】
- 苦戦している状況に変わりはないが、足下で売上や客数は底に近いと感じる。【ホームセンター】
- 販売台数は前年を上回っており、引き続き堅調が見込まれる。【乗用車販売】

【生産活動】足踏みの状況にある

汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。輸送機械は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。電気機械は、持ち直しの動きがみられる。金属製品は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。窯業・土石は、弱い動きとなっている。プラスチックは、弱い動きとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 前期の認証不正問題による影響は解消しつつあるものの、新たな不正による生産停止の影響を受けて減少。内容は変わっているが引き続き減少している。【輸送機械】
- 欧州等の景気減速の影響により、生産も需要も低い水準で推移している。
【汎用・生産用・業務用機械】
- 足下では新たな不正による影響を受けて減少している。前期から内容は変わっているものの減産が続いている状況。【金属製品】

【雇用情勢】緩やかに改善しつつある

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

(主なヒアリング結果)

- 正社員、非正規社員ともに不足感を感じている。対策として賃上げ等を実施していく。【スーパー】
- 他販売店でも採用が活発になっており人の取り合いとなっている。新規採用者の確保のために、引き続き賃上げ等の対策を検討している。【乗用車販売】
- 一定程度退職者もあり、常に募集中だが、特に現場の従業員がなかなか集まらない状況が続いている。【汎用・生産用・業務用機械】
- 宿泊業、飲食サービス業は離職が多い業界であり、正社員が減る傾向。マンパワーを補うべく、同じ人が掛け持ちを行いやりくりしている現状にある。フロントや掃除のロボットについても導入している。【観光】

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>